

「名東図書館に行ってみよう！不要本リサイクル会」取材しました！

「チーム名東」は、2008年10月25日（土）に名東図書館で開催された「名東図書館に行ってみよう！不要本リサイクル会」取材しました。取材者は椋山女学園大学教育学部1年の辻由佳と恒川典子です。それではイベントの様子をご紹介します！



このイベントは平成4年より毎年行われているので、今年も400名を越える来場者があり、大盛況でした。この会は、購入してから5年程経ち、ポロボロになってしまい、本来廃棄されてしまう本を必要とする人に譲り、リサイクルすることを目的に行われています。これを機会に区民の方々に名東図書館に足を運んでもらうことで、今後も継続して図書館を利用してもらえるようにすることも目指しています。“捨てるはずの本に命を吹き込む”この素敵なイベント！その様子をレポートします！

会場では絵本や児童書が大人気。絵本や児童書はすぐになくなってしまいました。絵本を希望されている方は、なんと当日朝5時30分から並ばれたそうです。後ろに並ばれている方にも本がまわるように、選書時間は20分、児童書は5冊まで等の制限があります。そのためか「20分は短い！もっと本をよくみて選びたかった！」という声も。小学生の女の子はさくらもこの本など、欲しい本が手に入り、嬉しそうです。また本日2番目に列に並んでいた男性も、お目当ての鉄道の本が入手できたのでとても喜んでいました。



家族連れも多く、子ども2人と一緒に来ていた30代の女性は「今日で参加は3回目です。普段は値段が高くて買えないので、子どもと写真を見て勉強できる地図や図鑑などがもっとあると良いです」とおっしゃっていました。また、ほかの地区の図書館のリサイクル会にも参加しているという40代の男性は、「16区で行われている本のリサイクル会に、ほぼ参加しています。今日も中川区でやっています。でも、2区以上で日程が重なると参加できなくなったりするので、日程のダブリはやめてほしいです」と述べていました。

取材してみて、本来ごみとして捨てられてしまう本を、図書館を盛り上げるのに役立て、リサイクルにもなっていることがとてもよいと感じました。また運営面でも、整理券が配られ、訪れた方がずっと並んでいなくて済んだこと、時間制で待っている人が待ち時間を把握できるようになっていたことなど、工夫が見られました。取材陣の私たちも、来年は本を受け取る側として参加したいな、と思う素敵な会でした。